

地域の価値



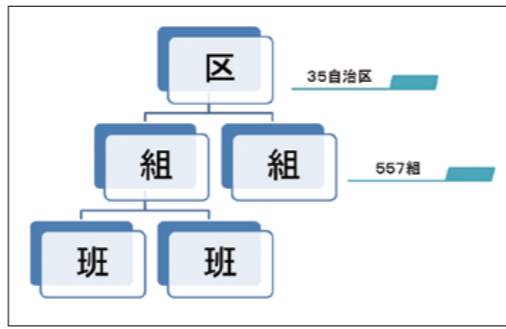
2018年7月広報で特集した、田窪地区での防災訓練の様子。有事には、世代を超えた助け合いが必要です。

自治会には、若い世代が入りやすい体制が必要

自治会には、自分たちが住む地域をより住みやすくするために、自主的に活動する人の集まりです。昨年7月に発生した西日本豪雨災害をはじめとした大規模災害や、予想される南海トラフ巨大地震の発生を考えると、「いざ」というときに地域で支えあえるのか……と不安になった方も多いのではないのでしょうか？

日頃から地域のつながりの核となる自治会ですが、東温市では自治会加入世帯が年々減少。平成31年2月現在、1万5千世帯が暮らす本市の自治会加入率は、約66%まで下がっています。これからは、地域の実情に合わせて「若い人に入ってもらう」ための取り組みが必要となっています。今月は自治会特集。新年度となり、身の回りの生活が変化する今の時期こそ、これからの地域の在り方を考えてみませんか？

自治会がなくても生活できる？



自治会構成イメージ

平成16年に重信町と川内町が合併して、東温市が生まれました。地域は35の自治区の下に「組」という構成単位ができがあり、さらにその下には「班」という小単位で活動する地域もあります。

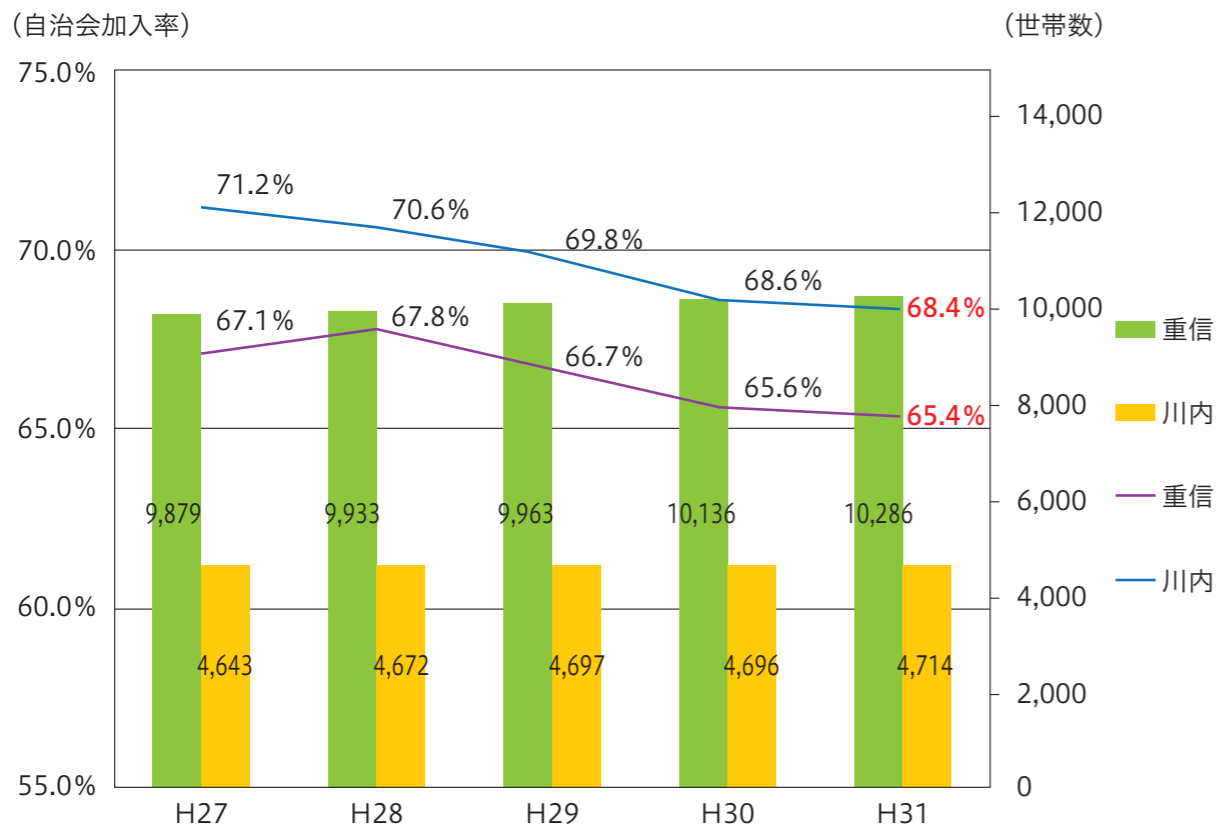
東温市は、その立地条件の良さや温暖な気候条件に恵まれ、平成22年まで人口が増加。その後、日本全体が人口減少する中、緩やかな減少傾向となりましたが、志津川南地区の宅

しい分譲宅地と昔からの住まいが混在する地域が増えてきました。しかし、世帯数は増えているにもかかわらず、自治会加入率は減少が続いています。

市へは、「役員をしたくないから自治会から抜きたい」「自治会を抜けると、ゴミを捨てられなくなるのか」「自治会から抜けても生活に支障がない」という意見が寄せられますが、本当にそうでしょうか？今の東温市が維持できているのは、他でもない「地域の力」があるからです。

清掃活動やゴミステーション管理、見守り活動に携わる人がいるから、道にゴミがあふれず、防犯灯の明かりは夜道を照らし、災害が起こった時の安否確認や避難所運営が行えます。住民同士の交流機会が減れば、孤立する高齢者や家族が増え、子どもたちは通学路で何か起こった時に助けを求められることができなくなるかもしれません。

自治会加入率と世帯数推移



※4月1日(H31は2月1日)時点の世帯数

必要です。

地域のつながり

突然の災害発生。避難所運営は協力が必要
 大規模災害が発生した場合、体育館や地区集会所などが避難所となり、市民の皆さんは、長い間、避難所での生活をしなければなりません。



避難所運営訓練の様子

性別、年齢の違いはもちろんのこと、世帯人数、持病、障がい、外国国籍、ペットの有無など、それぞれ違った人たちが集まって集団生活を送らなければならなくなったとき、お互いを思いやることができるでしょうか？「寝ている人がいるから静かにしよう」「赤ちゃんがいるから、泣いていたら氣遣ってあげよう」「足を怪我しているから手を貸してあげよう」。避難所は、全員が苦しい状況です。支えあう気持ちをもつためには、普段からの付き合いが一番の力を発揮します。

ゴミ集積所の管理や清掃活動も地域の力で

東温市のゴミ収集の方法は、地域ごとに指定された集積所へ、家庭ごみを持参し、地域で集まったゴミを、市が回収しています。集積所の維持管理には、当然費用がかかり、その費用は地域住民で集めたお金(区費や組費という名称で呼ばれています)から支払われています。また、ごみ収集日には、地域の皆さんが当番で回収のお手伝いをしていきます。自治会に入る人が少なくなったら、誰が集積所を管理できるのでしょうか？管理する人が少なくな

れば、近所の集積所がなくなり、今より遠い場所へゴミを捨てに行かないといけなくなる可能性もあります。次の世代が入りやすい自治会は、実は自分のためになるのかもしれない。



川中生もゴミの分別に取り組んでいます

子どもと高齢者は、地域で見守る

市内地域は、大きな幹線道路がある地域や、住宅が密集する地域、山間部を有する地域など、それぞれ違った特性があり、違った危険が潜んでいます。子どもたちが安心して登下校できるのは、学校の先生



年末防災パトロール

やPTAの皆さん、地区民生委員の皆さんが道路に立って、横断歩道のサポートや不審者からの見守りを行っているからです。さらに、地域には「まもる君の家」として、子どもを犯罪から守るため、通学路付近にある家庭を緊急時の避難場所として提供してもらい、一時的な保護と警察への通報などに協力いただいている家庭もあります。このような活動も、地域のつながりがあるからこそ維持できており、地域のつながりがなくなると、犯罪被害が増える恐れもあります。

地域には、目に見えない価値があります。



恒例の秋祭り

自治会加入者の減少を食い止めるには、私たちが自治会の役割を再認識しなければなりません。家庭環境の多様化で、自治会に加入しない理由はさまざまですが、まずは、加入するメリットや会費の使途などを説明して自治会の良さを知ってもらうことが第一歩です。

地域には、目に見えない価値がいくつもあります。その価値は、時間をかけて築き上げてきたものであり、一旦途絶えてしまうと取り戻すのがとても困難です。あなたの呼びかけが安心して暮らせる地域、東温市をつくる力になります。お近くの方に、自治会の良さや楽しさと呼びかけて、皆で地域を良くしていきましょう。

これまで上げてきた以外にも、自治会は私たちの生活に密接に関わっています。スポーツやお祭りといった親睦行事で幅広い世代と触れ合い、子どもは学校や家庭では味わえない体験を通して成長し、高齢者は、地域の子どもの成長が楽しみになります。

自治会 Q & A

Q. 自治会はどんな活動をしているの？

A 自治会は、防犯灯やごみ集積所の維持管理、広報紙や地域のお知らせを回覧しての情報提供、地域の清掃活動や親睦行事など、生活に密着した活動を行っています。また、さまざまな地域課題を解決するには、地域が一体となる必要があります。何よりも災害が発生したときに頼りになるのが、地域の自治会です。

Q. 自治会費は何に使われているの？

A 先に紹介した活動に使われています。防犯灯やごみ集積所、公民館の維持管理はもちろん、清掃活動、防犯パトロール、地域の親睦会の開催などに充てられていることもあります。

Q. 長く住む予定がないので入らない

A 暗い夜道を照らす防犯灯、ごみ集積所の多くは自治会で維持管理を行っています。知らず知らずのうちに自治会の恩恵を受けています。自治会の活動を一緒に支えませんか？
 ※地区では、ごみ集積所利用料を徴収する場合があります。

Q. 近所付き合いが面倒だ

A 何事もない時は隣近所の良さ、ありがたさがなかなか分からないかもしれませんが、しかし、災害時など、いざという時に頼りになるのは隣近所に住む人たちです。誰がどこに住んでいるという基本的なことを知らなければ助け合いの力は発揮できません。自分の命を守るためにも、自治会に加入して「地域の絆」を深めましょう。

Q. 自治会の役員をしたくない

A 自治会は、支えあいの精神を元に活動しています。役員になると大変なこともあるかと思いますが、人のつながりが広がっていくという財産も得ることができます。役員の選任方法は自治会、組によって異なりますが、役員を務めることで、さらに地域の良さを再認識するきっかけにもなります。また、地域の住民同士だけではなく、ほかの自治会の人との人脈も広がります。

☎ 地域コミュニティを深めたい
 総務課 広報広聴・男女共同参画係
 ☎ 964-4400